

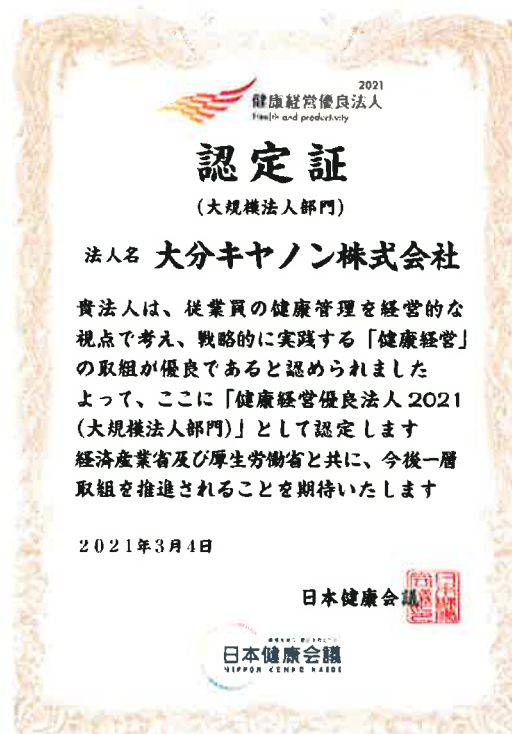
健康経営優良法人2021認定について

【健康経営優良法人2021認定】

2021年3月4日、大分キヤノンは、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2021（大規模法人部門）」に選定されました。

「健康経営優良法人」は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。

今回大分キヤノン・長崎キヤノン・宮崎キヤノンの3社で認定に向けて取り組んだ結果、厳しい認定基準に合格し、3社ともに初めての認定を受けることができました。



＜大分キヤノンの健康管理に対する取り組み＞

大分キヤノンは、2019年に健康経営ダントツ宣言を出し、健康経営に取り組んできました。

健康づくり責任者である増子社長は、「健康第一主義」「三自の精神」の行動指針に基づき、社員が健康管理に取り組むことができ、安心して働ける環境を提供すること、そしてキヤノングループNO.1の健康経営を目指すことで、生産性の向上につながり、社員一人ひとりが「健康で働ける幸せ」を実感できる会社にすることを宣言しています。

健康経営とは、社員の健康増進に取り組むことが企業の業績や企業価値向上につながるという考え方です。

健康経営優良法人の中で、上位500社は「ホワイト500」に認定されます。今回は上位500社には届きませんでしたが、今後も健康経営の取り組みを高め、ホワイト500の認定に挑戦していきます。

「健康8箇条」を日々実践し、健康で生産性の高い職場づくりに社員全員で取り組みます。

